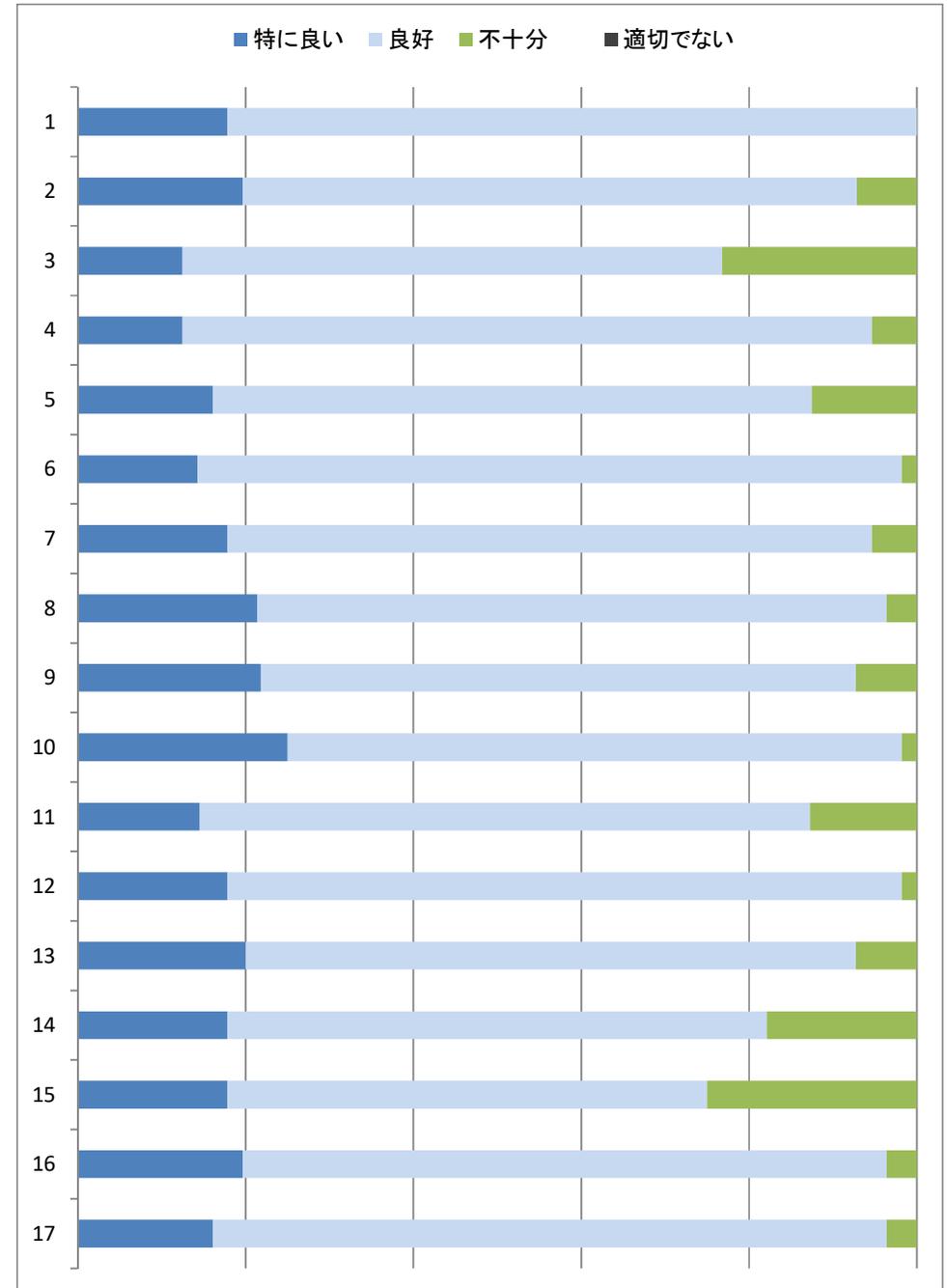


令和元年度 学校評価アンケート(教職員 自己評価) 回収率 100%

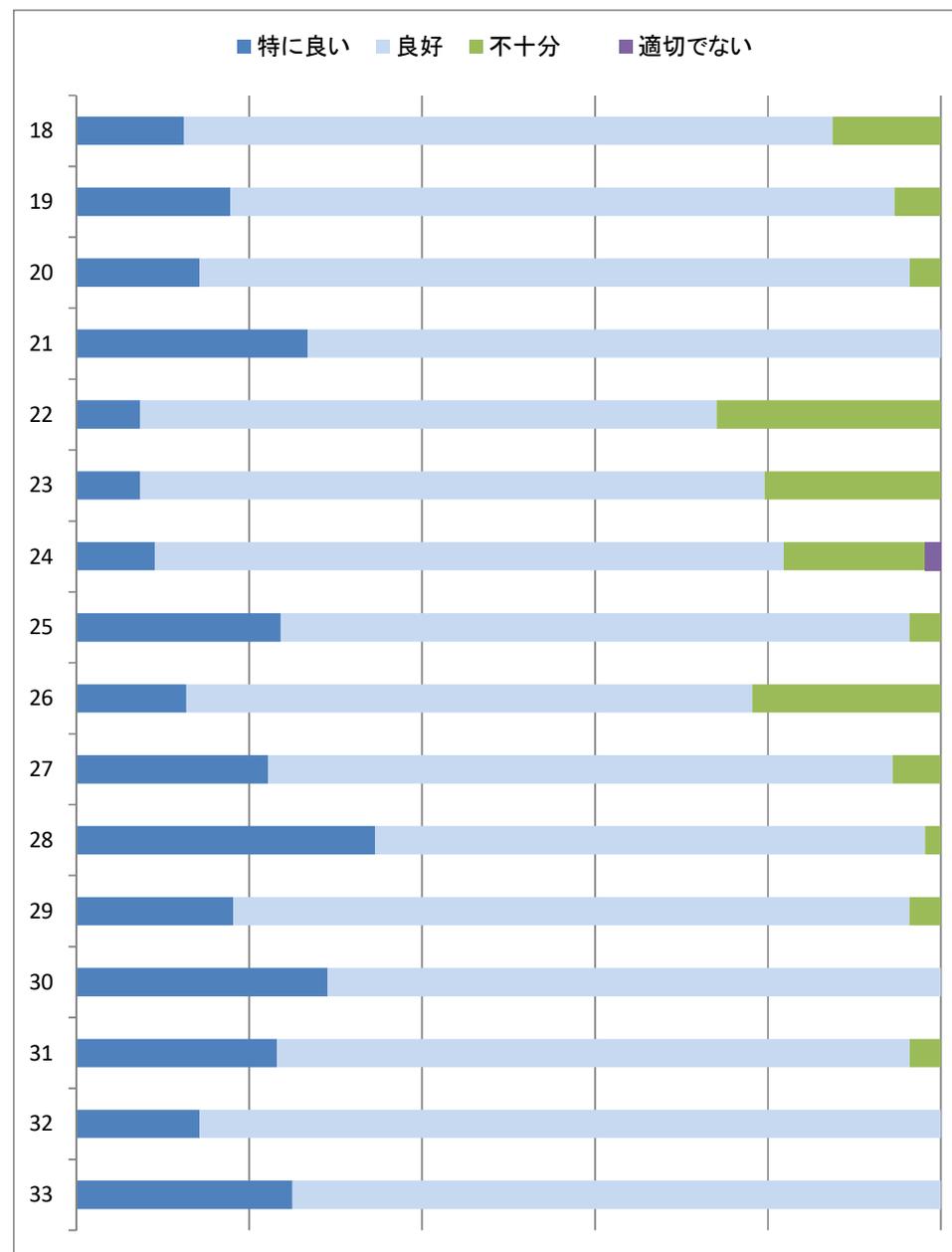
A:特に良い B:良好 C:不十分 D:適切でない ※無回答あり

項目	A	B	C	D
1 学校の教育目標である「豊かな心とつよい体をつくり 生涯にわたって自立し たくましく生きる生徒を育てる」を具現化するために、全教職員が日常の教育活動に取り組んでいる。	10 18%	46 82%	0 0%	0 0%
2 学校経営上、生徒・保護者・地域等の実態やニーズを踏まえた適切な方向性が示され、学校課題の改善・解決がなされている。	11 20%	41 73%	4 7%	0 0%
3 組織体として協働・協力体制が確立され、分掌・学年・学科・舎務等が適切に機能し、各部門間の連携が図られている。	7 13%	36 64%	13 23%	0 0%
4 生徒一人一人のキャリア発達を促すための系統的・重層的な指導を推進し、個々の進路実現に取り組んでいる。	7 13%	46 82%	3 5%	0 0%
5 社会への移行期にある生徒に、適切な学習指導、生徒指導、生活指導の充実が図られている。	9 16%	40 71%	7 13%	0 0%
6 管内における特別支援教育・インクルーシブ教育の進展に寄与できるよう努めている。	8 14%	47 84%	1 2%	0 0%
7 学習指導要領、教育課程編成基準を理解し、生徒の実態や障がいの特性等を踏まえ、社会や就労状況の変化に即した教育課程の編成・実施に努めている。	10 18%	43 77%	3 5%	0 0%
8 キャリア教育をベースとして、作業学習・生活単元学習・教科学習・学校行事等、教育内容全般について随時検討し、その充実に努めている。	12 21%	42 75%	2 4%	0 0%
9 個別の指導計画に基づき、個に応じた観点で学習活動を展開している。	12 22%	39 71%	4 7%	0 0%
10 授業を中心とした教育活動全般において、必要に応じた工夫や改善を行い、その充実に努めている。	14 25%	41 75%	1 2%	0 0%
11 生徒の学力や生活力向上のために、個に応じた適切な評価を行うことができている。	8 15%	40 73%	7 13%	0 0%
12 特別支援教育に必要な専門的な技術や知識を身に付ける姿勢を持ち、教育活動に活かしている。	10 18%	45 82%	1 2%	0 0%
13 挨拶、身だしなみ、言葉遣い等、社会人・職業人として生徒の模範となるよう自ら努めている。	11 20%	40 73%	4 7%	0 0%
14 生徒の発達段階や個別の課題に応じた生徒指導(ルール・道徳・モラル・性・礼儀など)を適切に行っている。	10 18%	36 64%	10 18%	0 0%
15 教職員の共通理解・協力体制のもとで指導が行われており、チーム・組織的対応が実践され機能している。	10 18%	32 57%	14 25%	0 0%
16 生徒に対して、自他の命や体を大切にす態度や知識を身に付けさせるとともに、心の教育の充実に努めている。	11 20%	43 77%	2 4%	0 0%
17 生徒や保護者のニーズを踏まえ、生徒の進路実現を図るべくキャリア教育の観点から進路指導の充実に努めている。	9 16%	45 80%	2 4%	0 0%



A:特に良い B:良好 C:不十分 D:適切でない ※無回答あり

	項 目	A	B	C	D
18	進路指導部・学年・担任・寄宿舎等の連携のもと、個々の生徒の実態に応じた適切な進路指導が行われている。	7 13%	42 75%	7 13%	0 0%
19	「現場実習」等、外部関係機関との連携のもと充実した進路指導を行い、その成果が生徒の活動に現れている。	10 18%	43 77%	3 5%	0 0%
20	学校・寄宿舎における事故防止について、日常的に未然防止の観点から、生徒への安全指導を行っている。	8 14%	46 82%	2 4%	0 0%
21	避難・防災訓練について、実施内容・時期・回数等は適切であり、効果的なものとなっている。	15 27%	41 73%	0 0%	0 0%
22	日々の寄宿舎生活を通じ、自立や基本的な生活習慣確立のための指導を適切に行っている。	4 7%	36 67%	14 26%	0 0%
23	保護者および学校側との連携を重視し、学舎一体となった生徒指導に取り組んでいる。	4 7%	39 72%	11 20%	0 0%
24	コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、適切に活用する学習活動の充実に努めている。	5 9%	40 73%	9 16%	1 2%
25	各教室等の整理整頓に努め、生徒が学習しやすい雰囲気づくりに日常的に取り組んでいる。	13 24%	40 73%	2 4%	0 0%
26	本校は、特別支援学校として適切な施設・設備が整っている。	7 13%	36 65%	12 22%	0 0%
27	各部門に関する予算計画・執行は適切に行われている。	12 22%	39 72%	3 6%	0 0%
28	支援部を中心として、地域における特別支援教育のセンター的役割(幼・小・中・高などへの支援)を果たしている。	19 35%	35 64%	1 2%	0 0%
29	PTA役員を中心に、生徒・保護者・教職員が連携して、PTA活動に取り組んでいる。	10 18%	43 78%	2 4%	0 0%
30	各種便りやホームページ、各種連絡協議会等を通じて、本校の教育活動について保護者や地域住民、関係機関への情報発信を行っている。	16 29%	39 71%	0 0%	0 0%
31	外部との交流事業や交流活動、地域資源を活用した実習等が適切に企画・実施され、成果をあげている。	13 23%	41 73%	2 4%	0 0%
32	保護者や地域、外部関係機関の方々に対して、学校教職員として、礼儀・言動・身だしなみ等、適切な対応を行うことができている。	8 14%	48 86%	0 0%	0 0%
33	不祥事防止について、適切な指導や注意喚起が行われ、常に意識しながら業務にあたることができた。	14 25%	42 75%	0 0%	0 0%



【評価の高かった項目】

- 28「支援部を中心として、地域における特別支援教育のセンター的役割(幼・小・中・高などへの支援)を果たしている。」 **A:35%**
30「各種便りやホームページ、各種連絡協議会等を通じて、本校の教育活動について保護者や地域住民、関係機関への情報発信を行っている。」 **A:29%**
21「避難・防災訓練について、実施内容・時期・回数等は適切であり、効果的なものとなっている。」 **A:27%**
10「授業を中心とした教育活動全般において、必要に応じた工夫や改善を行い、その充実に努めている。」 **A:25%**
33「不祥事防止について、適切な指導や注意喚起が行われ、常に意識しながら業務にあたることができた。」 **A:25%**

【評価の低かった項目】

- 22「日々の寄宿舎生活を通じ、自立や基本的な生活習慣確立のための指導を適切に行っている。」 **C:26%**
15「教職員の共通理解・協力体制のもとで指導が行われており、チーム・組織的対応が実践され機能している。」 **C:25%**
3「組織体として協働・協力体制が確立され、分掌・学年・学科・舎務等が適切に機能し、各部門間の連携が図られている。」 **C:23%**
26「本校は、特別支援学校として適切な施設・設備が整っている。」 **C:22%**
24「コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、適切に活用する学習活動の充実に努めている。」 **C:16% D:2%**

○記述欄

- ・農業科として十分な設備があるとはいえない。(小型トラクターや冷凍ストッカーがあってもいい)
- ・勤務時間中の服装や身なりなど、生徒や地域の方々から、どのように見られるかという視点でとらえてみてはいかがか。
- ・危機管理に関して見直すべきと考えます。(生徒玄関、教室の施錠、窓等の点検、物品管理、給食時職員室が無人になるなど)
- ・職員の言動が生徒の成長に影響を与えることを意識して、生徒と関わる必要がある。意識を改めるうえでも研修等で共通理解が必要では。
- ・卒業生の課題として、物の管理や、目上の人への言葉遣いなどが増えている。そのための学舎統一した指導が必要。
- ・勤務年数に応じた積極的な人事異動、適切な校内人事、人員配置、病休、退職者の代替、行事の精選、内容の再検討、職員室内の整理。
- ・教職員全員が健康で、平等で、安心して働ける職場でありたい。
- ・体調を崩して休む方のカーバーなど、代替も含め早めの対応が必要。
- ・校内人事において適材適所の配置を。
- ・開かれた学校づくり、地域のニーズにこたえられる学校体制を期待します。
- ・他の組織や、学舎の足並みをそろえた指導。
- ・進路外勤は3名配置することで、業務の平準化が図りやすいと考える。
- ・作業室1の床の腐りは補修したほうがよい。